

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			都道府県の 評価結果	
計画 年度	番号	施設名			目標値	成果目標 (考え方)	現状値		現状値の説明
H26	1	水産物荷捌き施設	H28	R4	水揚数量 953トン	過去3ヶ年(H19~21年度) の平均水揚数量	水揚数量 1,012トン	当初の計画どおりに施設が利用されており、目標値を上回った。 (達成率106%)	施設の整備により、養殖生産物等の安心・安全かつ衛生的な集出荷体制が整い、養殖生産等の再開・回復を後押ししたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H26	2	水産物鮮度保持施設	H28	R4	年間入庫量 3,940トン	過去5ヶ年(H18~22年度) の平均入庫量	年間入庫量 2,341トン	主要魚種の不漁、新型コロナウイルス感染症による消費低下等で、組合員の加工原料取扱数量が減少したため、目標値を下回った。 (達成率59%)	施設の整備により、地域加工業者の加工原料が確保されるとともに、大船渡市魚市場の背後施設として水揚げの増強を担うことで、地域の水産業の復興に大きく寄与している。サケ、サンマ、スルメイカ等主要資源の減少により目標値を下回ったことはやむを得ないものと判断する。
H27	3	漁船保全修理施設	H28	R4	上架漁船隻数 166隻 水揚数量 68トン	上架漁船隻数:復旧隻数 水揚数量:施設1台あたり の水揚数量(H20~22年度 平均)に整備台数を乗じた	上架漁船隻数 148隻 水揚数量 117トン	採介藻漁業者の高齢化等に伴う所有隻数の減少により上架漁船隻数は減少したが、計画どおりに施設が利用され、水揚数量は目標値を上回った。(達成率 漁船89%、水揚172%)	施設の整備により、漁船の保守、修繕体制が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。水揚数量については目標を達成したが、上架漁船隻数については目標値を下回ったことから、事業実施主体に対し利用隻数増加に向けて指導していく。
H27	4	作業保管施設	H28	R4	保管日数 365日 漁網の補修作業日数 165日	漁網の補修作業日数:H25 年度実績	保管日数 365日 漁網の補修作業日数 165日	当初の計画どおり施設が利用されており、目標値どおりとなった。 (達成率 100%)	施設の整備により、漁具の保全が図られ、地域の水産業の復興に大きく寄与している。目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H27	5	特認(定置番屋)	H28	R4	定置水揚金額 299,526千円	水揚実績の平均(二ツ水: 21~25年度5中3平均、小 壁21,22,24,25平均、大塩 崎21,22年度平均)	定置水揚金額 177,183千円	不漁による定置全体の水揚げが減少したことにより、目標値を下回った。 (達成率59%)	施設の整備により、再開された定置漁業の安定的な操業・運営体制が整ったことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。不漁による定置全体の水揚げが減少したことにより目標値を下回ったことはやむを得ないものと判断する。
H27	6	作業保管施設	H28	R4	受益者の水揚金額 147,128千円	水揚実績の平均(H23~ H25年度平均)	受益者の水揚金額 97,154千円	イサダ、サンマの漁獲減等により組合員(1名)が廃業したため、目標値を下回った。 (達成率66%)	施設の整備により、再開された小型漁船漁業の漁具資材保管体制が整ったことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。イサダ、サンマの極端な不漁を背景に組合員の廃業により成果目標を下回ったことから、事業実施主体に対し新規着業者の確保育成など目標達成に向けて指導していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果				
計画 年度	番号	施設名			成果目標			現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	(考え方)	現状値		
H27	7	漁港環境施設(田老漁港)	H28	R4	利用日数 365日	利用状況の回復を図り、 利用日数(365日)を被災 前と同程度にする。	利用日数 365日	公園・便所の復旧により震災前と同様に利 用が図られた。 (達成率100%)	施設の整備により、漁業者の就労環境が向 上し、地域の水産業の復興に大きく寄与し ている。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H27	8	漁港環境施設(大沢漁港)	H28	R4	利用日数 365日	利用状況の回復を図り、 利用日数(365日)を被災 前と同程度にする。	利用日数 365日	公園の復旧により震災前と同様に利用が図 られた。 (達成率100%)	施設の整備により、漁港の環境整備が図ら れ、地域の水産業の復興に大きく寄与して いる。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H27	9	漁港環境施設(山田漁港)	H28	R4	利用日数 365日	利用状況の回復を図り、 利用日数(365日)を被災 前と同程度にする。	利用日数 365日	オイルフェンス施設の復旧により震災前と同 様に利用が図られた。 (達成率100%)	施設の整備により、港内水域の保全が図ら れ、地域の水産業の復興に大きく寄与して いる。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H27	10	漁業作業軽労化施設	H28	R4	養殖生産物の生産量 ワカメ143トン	施設1台当たりの生産量 (H24~26年度平均)	養殖生産物の生産量 ワカメ136.3t	ワカメは順調に生育し、ほぼ目標どおりの 生産量となった。(達成率95%)	施設の整備により、漁業作業が軽労化さ れ、地域の水産業の復興に大きく寄与して いる。 目標をほぼ達成しており、今後も施設が有 効に活用されることが期待される。
H27	11	漁港環境施設	H28	R4	実利用者数 243人	漁港を利用する漁港世帯 数に1戸当たりの平均漁 業従事者数を乗じた	実利用人数 109人	漁業者の減少等に伴う実利用者数の減少 により目標値を下回った。 (達成率45%)	施設の整備により、漁業者の就労環境が向 上し、地域の水産業の復興に大きく寄与し ている。 漁業者の減少等に伴う実利用者数の減少 により目標値を下回ったことから、事業実施 主体に対し新規就業者の確保育成など目 標達成に向けて指導していく。
H27	12	漁港環境施設(崎浜漁港)	H28	R4	利用日数 365日	利用状況の回復を図り、 利用日数(365日)を被災 前と同程度にする。	利用日数 365日	便所の復旧により震災前と同様に利用が図 られた。 (達成率100%)	施設の整備により、漁業者の就労環境が向 上し、地域の水産業の復興に大きく寄与し ている。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H27	13	漁港環境施設(越喜来漁港)	H28	R4	利用日数 365日	利用状況の回復を図り、 利用日数(365日)を被災 前と同程度にする。	利用日数 365日	便所の復旧により震災前と同様に利用が図 られた。 (達成率100%)	施設の整備により、漁業者の就労環境が向 上し、地域の水産業の復興に大きく寄与し ている。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H27	14	漁港環境施設(綾里漁港)	H28	R4	利用日数 365日	利用状況の回復を図り、 利用日数(365日)を被災 前と同程度にする。	利用日数 365日	便所の復旧により震災前と同様に利用が図 られた。 (達成率100%)	施設の整備により、漁業者の就労環境が向 上し、地域の水産業の復興に大きく寄与し ている。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果				
計画 年度	番号	施設名			成果目標 (考え方)			現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値		現状値		
H27	15	漁港環境施設(六ヶ浦漁港)	H28	R4	利用日数 365日	利用状況の回復を図り、 利用日数(365日)を被災 前と同程度にする。	利用日数 365日	便所の復旧により震災前と同様に利用が図 られた。 (達成率100%)	施設の整備により、漁業者の就労環境が向 上し、地域の水産業の復興に大きく寄与し ている。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H27	16	漁港環境施設(長部漁港)	H28	R4	利用日数 365日	利用状況の回復を図り、 利用日数(365日)を被災 前と同程度にする。	利用日数 365日	便所の復旧により震災前と同様に利用が図 られた。 (達成率100%)	施設の整備により、漁業者の就労環境が向 上し、地域の水産業の復興に大きく寄与し ている。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。